令和5年4月

　実習受入れ機関　御中

日本大学生産工学部

応用分子化学科主任 津野　孝

生産実習委員　　　 吉宗　一晃

伊東　良晴

**生産実習・同（S）（インターンシップ）における実習生受入れのお願い**

拝啓　陽春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本学の教育・研究活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学部では技術的・経営的視点による「理論と実践の融合」を理念とし、インターンシップの先駆けである『生産実習・同（S）』を学部創設時より必修科目として実施しております。この科目では幅広い知識・技能と実践技術を関連付け、総合的知見と創造的感性を有した工学技術者の育成を目指しています。昨今では、知識基盤社会をたくましく、しなやかに生き抜く “ジェネリックスキル”や“エンジニアリング・デザイン能力”の醸成が工学教育の新たな課題となっており、本学科においても当科目を通じた“経験を学びに変える力”の養成を一層重視し、継続的な教育改善に取り組んでいます。

つきましては、学生たちがこれらの「学び」を経て“自律的な学習者”へと変容するための実践の機会を賜りたく、実習生のお受入れをお願い申し上げます。なお、本学部では教育改善の一環として、諸手続きのWeb化による情報伝達・共有を推進しています。**お手数ですが同封の概要説明書をご確認のうえ、5月11日（木）までに同書記載のURLからWeb登録にてお受入れに対するご回答をいただきたく、何卒宜しくお願い申し上げます。**

略儀ながらまずは書中をもちましてご依頼申し上げます。

敬具

記

同封資料： 1. 生産実習・同（S）概要説明書

2. 生産実習・同（S）に係る事故等の補償形態について

3. 実習生受入れのご検討に際して

【実習生受入れのご回答について】

**≪生産実習SYSTEMログイン用　ID：　　　　　　　　　　Password：　　　　　　　　　　　≫**

**※生産実習SYSTEMへのログインおよび登録の方法は、同封の「生産実習・同（S）概要説明書」のP.18に記載しています。**

**※Web登録によりご回答いただく場合は、次年度以降、回答時に変更点のみ更新いただくこととなります。**

※Web登録によるご回答が困難な場合は、お手数ですが、学部ホームページまたは生産実習SYSTEMより「実習生受入れに対する回答書」をダウンロードいただき、ご記入のうえ、別紙「実習生受入れのご検討に際して」に記載する連絡先へメールまたはFAXにてご送付願います。

以上